

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日		月 日	
経過	入院（検査前日）		当日（検査前）	
目標	心身ともに安定した状態で検査を受けられる		検査後の安静が守れる 合併症（穿刺部出血・血腫・血尿・穿刺部痛）出現時、早期に対処される 安静の制限に伴う苦痛や ストレスが緩和する	
検査	  血液検査と尿検査があります		終了5時間後に血液検査をおこないます	
食事	腎臓病食です		検査2時間後からベッドアップして食事ができます	
	朝食は 自宅で	 		 
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります リストバンドを装着します		 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります 検査前に点滴の針を挿入します。 ※女性の場合は尿の管を入れます。 （翌朝まで留置します）	
			 検査後は体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測ります 検査後安静のため尿は尿瓶でとります  尿量測定・性状を確認します	
点滴・内服			 検査開始時に抗生剤と 止血剤の点滴を4本します	
行動	 制限はありません  シャワー浴ができます		 制限はありません  検査前にシャワー浴があります シャワー浴後検査着に 着替え、弾性ストッキング を着用していただきます ※深部静脈血栓症のリスクの高い方は フットポンプを着用する場合があります	
			 検査後2時間は絶対安静となります  2時間後、ベッドアップして 食事ができます ※検査後5時間は仰向けで安静を保持してください 5時間後の血液検査で問題なければ 穿刺部を下側にして横向きになれます	
説明	 医師より説明 ・検査について		 看護師より説明 ・深部静脈血栓症予防について	
	 看護師より説明 ・入院生活と検査後の 安静度について			
	 薬剤師より説明 ・点滴・内服薬について		 看護師より説明 ・検査後の安静について	

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日
経過	検査後 1 日目		検査後 2 日目
目標	検査後の安静が守れる 合併症（穿刺部出血・血腫・血尿・穿刺部痛）出現時、早期に対処される 安静の制限に伴う苦痛や ストレスが緩和する		合併症（穿刺部出血・血腫・血尿・穿刺部痛）をおこさない 退院後の日常生活が理解できる
検査	 血液検査と尿検査があります。 蓄尿検査があります。  10 時排尿を済ませその後より蓄尿を開始します。翌朝 10 時まで蓄尿します		 1 日尿量測定は退院日まで継続してください 朝 10 時に尿量・尿性状を確認します
食事	  		  
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります 朝、医師が穿刺部の診察に来られます 抗生剤が終了したら留置針を抜去します ※女性の場合、朝に尿の管を抜きます		 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります 穿刺部のテープを外します
点滴・内服	 抗生剤の点滴が 1 本あります		
行動	 医師の診察後ベッド上安静は解除されます  室内トイレまで可能です  朝看護師が体を拭きます		 安静度の制限はありません  シャワー浴ができます
説明	 医師より説明 穿刺部の診察があります  看護師より説明 ・安静について ・蓄尿検査について ・尿量測定方法について		 医師より説明 ・退院後について  看護師より説明 ・療養生活について